

I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

II、本年度の指導の重点

- ・様々な人との触れ合いを通して、自ら感じ、自ら考え、自ら行動できる子どもを育てる

III、自己評価の状況

◎目標を上回る

○目標に達する

△目標に届かない

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園の運営について	◎	自分の保育と評価について次の保育計画に生かせるようになったが、幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成や、季節の変化に応じた環境構成がまだ不十分である。
2	保育の在り方、幼児への対応	◎	幼児の話をよく聞くようにしたり、褒めたり、励ましたり、めあてを持たせるように言葉かけをし、温かなやりとりやスキンシップを常に心がけることができた。 もう少し全教職員間の情報共有の時間を確保したい。
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	専門知識や技術を身につけるだけでなく、社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性が低い
4	保護者への対応・守秘義務	◎	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接することが出来ている。保護者との良好な関係は評価できるが、節度を持ったかかわり、話し方に気を付けていく。
5	地域の自然や社会とのかかわり	◎	卒園生が遊びに来ることのできる場を設けたり、子どもの情報を得るように努めたりすることはできている。 小学校との交流も少しずつ増えてきている。
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	◎	研修会で受けた内容を保育活動に取り入れることはできているが、自分の保育についての自己課題や悩みを同僚間で解決しようとするのが少ない
7	地域における子育て支援	◎	園庭開放は行なっているが、来園者が少ない。 子育てに関する情報はスマホで得られるため、わざわざの講座には参加しようとしにくい保護者への支援は対話を通じて行なっている。

IV、保護者評価の状況

回収率 86.6%

	評価項目	結果	評価内容
1	子どもの成長について	◎	仲良しの友達がいって、いろいろな遊びに興味を持って取り組む姿が見られている。 生活に必要な言葉は言えているが、相手の話をもう少し聞くことができると良い
2	園の運営について	◎	運動会や遠足、作品展など子どもの興味や発達を考え、工夫して行えている
3	家庭との連携について	◎	子ども達を知る機会の設定や一人ひとりの情報を保護者に伝えることができている。また、相談にも誠実に対応している

V、総合的な評価結果

評価	理由
B	園内に保育に対する語り合いの風土が出てきており、教師全員で全園児を把握することができている。さらなるきめ細やかな保育を展開し、保育の質を向上させたい。そして保護者にも担任以外から子どもの状況を話すことで、安心感を持っていただけ幼稚園に対する信頼度が高くなってきている。 小学校との架け橋期のカリキュラムも作成され、交流が少しずつ持てるようになってきた。

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

VI、今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	少人数であることを生かした異年齢との交流保育の展開と一人一人の成長を保護者と共に感じられる保育の工夫	少人数であることを生かし、一人ひとりにあった援助を行い、保護者からもさらに信頼される幼稚園を持続させていく。自然に生まれる異年齢との交流や様々な経験ができるカリキュラムにより、優しい心、思いやる心、自己を主張できる表現する力などが育っていくように保育を進めていく 一人ひとりのポートフォリオの作成

VII、学校関係者評価委員の評価

- ・本年度の取り組みやエピソード、運営の在り方などを伺い、教職員の経験の豊富さ、園児、保護者との信頼、多方面における安全管理、並びに地域との交流など信頼も厚く、健全安全に園が運営されている。
- ・園児を新規募集しないとのこと、本当に残念です。園児達の元気な声で溢れていた時を知るものとしては、とても寂しい気持ちでいっぱいです。残りの時間を「いつもにこにこ元気に」子ども達と楽しく過ごしてください。
- ・園児の減少はとても残念ですが、多摩幼稚園卒の先生が誕生することをなによりうれしく思います。